

研究協力をお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 医療統計室

京都大学大学院医学系研究科 社会疫学教室

記

研究の名称	がん対策への有効活用のための患者体験調査の二次的分析研究
対象	2019 年 1 月 7 日から 7 月 31 日までの期間に質問紙調査された患者さんの有効回答を研究に利用いたします。全体で 7080 例を予定しています。
研究期間	2023 年 9 月 22 日 ~ 2028 年 3 月 31 日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：患者さん・ご家族のがん治療体験についての質問紙調査をもとに、医療現場における課題や潜在的な問題の把握、特に治療による医療費負担や就労の変化による治療や生活への影響を調査し、その対策の立案につながる基礎資料を作成します。作成したデータベースをもとに、医学・看護・疫学の分野横断的な研究チームによる共同研究を行います。</p> <p>利用方法：「国立がん研究センター患者体験調査報告書 平成 30 年度調査」の有効回答を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。各共同研究機関から主管機関である大阪医科薬科大学には、研究で利用する情報から個人を特定できる情</p>

	<p>報を削除した状態で提供されます。</p> <p>利用又は提供の開始予定日：研究実施許可日（2023年9月22日）</p>
<p>利用し、又は提供する試料・情報の項目</p>	<p>本研究ではアンケートで回答された内容を用いて解析を行います。</p> <p>回答は無記名返送されたものです。</p>
<p>利益相反について</p>	<p>本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。</p> <p>当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。</p>
<p>研究者名</p> <p>【研究責任（代表）者】</p> <p>大阪医科薬科大学 医療統計室 室長・准教授 伊藤 ゆり</p> <p>【共同研究機関】</p> <p>京都大学 医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学教室 教授 近藤 尚己</p>	
<p><問い合わせ窓口></p> <p>【主管研究機関】</p> <p>〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号</p> <p>大阪医科薬科大学 医療統計室</p> <p>担当者 伊藤 ゆり</p> <p>連絡先 072-683-1221（代） 内線 3401</p>	

【共同研究機関】

住所：京都市左京区吉田近衛町

京都大学大学院医学研究科

担当者 近藤 尚己

連絡先 075-753-4355(直通) 内線 4355

【既存試料・情報の提供のみを行う機関】

国立がん研究センター 医療政策部 東 尚弘

市瀬 雄一

< 試料・情報の提供を行う機関 >

提供責任者：国立がん研究センター 東 尚弘

研究機関及び研究機関の長：国立がん研究センター 中釜 斉

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 伊藤 ゆり 殿

研究の名称	がん対策への有効活用のための患者体験調査の二次的分析研究
-------	------------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）